

令和7年度 第3回 浜松市立中郡中学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2025年11月25日(火) 13:30~15:20
2. 開催場所 浜松市立中郡中学校 会議室
3. 出席委員 高井 昭、本間 義章、山下 功、村木 富代、杉本 泉、小杉 敬治郎
4. 欠席委員 川島 博美、河合 洋子、和田 健吾
5. オブザーバー 小池 誠(積志協働センター)
6. 学 校 高橋 基(校長)、川合 公孝(教頭)、鈴木 智香(教務主任)、
飯田 宣子(1学年主任)、野田 潤子(2学年主任)、袴田 素充(3学年主任)、
川口 哲也(大樹学級主任)、鈴木 祥紘(生徒指導主事)、
佐藤 奈帆(CS ディレクター)
7. 傍 聴 者 なし
8. 会議録作成者 CS ディレクター 佐藤 奈帆
9. 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、高井委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10. 協議事項

- (1) 学校評価アンケートの項目について
- (2) 地域人材活用の成果と課題について
- (3) 本校生徒の地域での様子、及び、新たな地域人材の活用希望について

11. 会議記録

司会から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校評価アンケートの項目について

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、学校評価アンケートの項目について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・グランドデザインを見てもらい、アンケートがこれに基づいて項目分けされていることを念頭に置き、その上でアンケートについてご意見をいただきたい。(高井委員)
- ・生き方(3)と道徳項目(12)の内容が重複しているので、道徳項目(12)は削除する予定。(教務主任)
- ・グランドデザインに道徳の表記があるので、アンケートの道徳項目(12)は残した方がいいのでは。(高井委員)
- ・道徳の授業だけで生き方を学んでいるわけではないので、道徳に特化する必要はないが、「道徳で学んだ生活を実践しようと試みているか」のような質問に変えるのはどうか。(杉本委員)
- ・「お年寄りや妊婦に席を譲ったことがあるか」のような例を記載すれば分かりやすい。(山下委員)
- ・家庭内で道徳の授業の話題が出ているかは聞いた方がよい。生徒と保護者は、道徳項目について具体的に想像するのが難しいと思う。(高井委員)
- ・質問が大きすぎるので、具体例があれば理解しやすい。(村木委員)
- ・道徳項目(12)は生き方項目(3)より分かりやすいので残した方がいい。(本間委員)
- ・アンケートの網掛けの箇所についてだが、協働性に自主自立の項目が混ざっている。(教務主任)

- ・ 集団の活動において、と記載があるが、「学校行事」を付け加えると分かりやすいのでは。(本間委員)
- ・ 集団活動は、学校行事だけでなく学校生活の中でのグループ活動等も含まれる。(生徒指導主事)
- ・ 子ども達が想像しやすいように記載する方がよい。(本間委員)
- ・ 自発性と協働性とは意味が違うので、一緒の項目に出来ないのでは。(杉本委員)
- ・ アンケート項目の内容は、グランドデザインの言葉と連動させて作成している。(校長)
- ・ 昨年度の学校運営協議会で、アンケート項目について大幅な改定をしているので、今回は難しい言い回しを簡単にする程度の見直しでいいのでは。(本間委員)

(2) 地域人材活用の成果と課題について

議長の指示により、各学年主任と大樹学級主任から、別紙資料に基づき、地域人材活用の成果と課題について説明があった。

【1 学年】

民生委員からの講話

- ・ 民生委員として参加したが、話をしていく中で、自分と子ども達のご近所同士だということが分かり、そういう意識で話が出来てよかった。(村木委員)
- ・ 町別に分かれて民生委員が話をした。それぞれの地域で民生委員が活動していることを理解してもらえた。(本間委員)
- ・ 民生委員からの福祉講話は素晴らしかった。他の学校にも広めたらどうか。(杉本委員)

その他(飯田主任より)

- ・ 俳句教室では、講師の先生に俳句についてお話をしていただき、個人で作った俳句の良いところを見つけ合った。
- ・ 天竜厚生会に依頼をし、福祉講座、福祉体験を実施した。
- ・ 人権教育については河合委員に講師をしていただく。

【2 学年】

職業講話

- ・ 講師の方への依頼は、皆様にご足労いただき、30 名にご協力いただいた。講師の方も混乱するので、内容についてはもう少し狙いを定めて話せばよかった。(本間委員)
- ・ 完成された社会人だけでなく、途中経過である大学生にも話を聞けるといいのでは。(山下委員)
- ・ 弁護士の方が、ただ弁護士になるにはとにかく勉強すれば良い、優秀な弁護士になるにはそこから人間としての成長が必要なので、人間力を高めようという話をしていた。こういう生の声を色々な職業の方から聞けるのは良い。(杉本委員)
- ・ グループの人数が5人程で、ちょうど良かったと思う。大樹の生徒も入っていたのか。(高井委員)
- ・ 大樹の生徒も加わり、彼らなりに理解しているようだった。(川口大樹学級主任)
- ・ 人気のある職業だけでなく、偏らないように色々な話を聞いた方がよい。(山下委員)
- ・ 大工の方たちが色々工夫をして下さり、興味深い講話だった。自分が興味のない職業でも、今回の活動を通じて興味が湧くかもしれない。(村木委員)

その他(野田主任より)

- ・ 学校支援コーディネーターの梅田さんにご協力いただき、授業内で浴衣の着付け体験をした。帯に時間がかかるため、地域の方にご協力いただき全員がきちんと着付け終わるまで体験出来た。
- ・ 職場体験学習では、生徒が選んだ職場で2日間職場体験をした。

【3 学年】

パパママ体験

- ・ 60 組もの親子が集まる地域はあまりない。地域との連携が良かったのでは。赤ちゃんと触れ合う機会
は普段ないので、命の触れ合いがいじめ防止に繋がるとよい。(本間委員)
- ・ 参加者の親から、中郡中の生徒は明るくてとてもよかったとの話を聞いた。(杉本委員)
- ・ 親子が多かったため、少人数の生徒で 1 人の赤ちゃんと触れ合うことが出来ていた。(山下委員)

その他（袴田主任より）

- ・ 未来の自分を考える講座では、浜松市の未来政策課から講師を招き、現在の若者像ということで浜松市
の実態を教えていただき、その上で自分はどんな未来を描くのか、というワークシートを書いた。
- ・ 集団面接練習を杉本委員にお願いする予定。

【大樹学級】

- ・ 体験型の進路講座と生き方講座について具体的に知りたい。(本間委員)
- ・ 講話だけだと理解出来ないこともあるので、ワークショップの後に講話をしてもらえると良い。体験を
通じて学ぶのが一番良い。(川口主任)

【全体】

- ・ 12 月の防災講座について、河合委員と話をし、講話を聞いた後に避難所と仮定した場所でのワークシ
ョップ等を行う。来年度からは、1 年生を対象とすることを校内で検討していく。(教務主任)

(3) 本校生徒の地域での様子、及び、新たな地域人材の活用希望について

議長の指示により、校長と教頭から、別紙資料に基づき説明があった。

- ・ 自治会の中で、英語を話す外国の方はいるのか。(高井委員)
- ・ 地域にいるか聞き取りをしていく。(本間委員)
- ・ 保護者でも構わない。(教務主任)

その他報告事項

(1) 生徒指導主事から、いじめ防止の取り組み、および、前向きになってきた生徒について報告があっ
た。

- ・ いじめをなくすためにどういう取り組みが出来るか、生徒でスローガンを考え、中中いじめ 3 か条を
作成し、パネルで掲示した。
- ・ 前向きになってきた生徒の傾向だが、4 月と比べ、徐々に登校する日数が増えている生徒がいる。ほぼ
登校出来なかったが、少しずつ時間数を増やし、1 日在校しようとチャレンジしている生徒もいる。

(2) 校長から、休日部活動の地域移行について報告があった。

- ・ 現在、本校の部活動は火、木、金曜日に 2 時間、休日に 3 時間を基本としている。休日の活動をはまク
ルに移行するかは地域クラブ次第で、学校は活動には一切立ち入れない。

(3) 次回会議は、2026 年 2 月 17 日（火）午後 2 時から会議室で開催する旨の連絡があった。